New Edition **GROVE English CommunicationⅠ**（109文英堂 CI 109-901）

検討の観点と内容の特色

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 内容の特色 | ・各パートの左ページには本文が，右ページには内容理解や自己表現活動，文法の解説・課題が設置され，授業展開がイメージしやすい見開き構成となっている。・教材のバランスや全体的な分量が適切である上，学びに向かう力を育成するために巻を通じて２回のCLILページ，コラム，付録，補充教材を設け，機能的で充実した授業展開ができるよう配慮されている。 ・題材は，「日本文化」「生物」「歴史」「環境」「異文化理解」など，特にSDGsに対応した多様な題材がバランスよく選択されており，生徒が興味・関心をもって学習が進められるように配慮されている。・言語材料は，中学校との連携を考慮して，基本事項の定着を重視し，段階的に学習することができる。 ・聞く・読む・話す[やり取り／発表]・書く の 5領域のバランスを重視し，総合的・統合的に英語でのコミュニケーション能力が育成できるように，構成・内容が工夫されている。・読んだり聞いたりした内容をもとに，自身の意見をまとめたり，クラスメートの意見を聞いたりする活動を通して，学習者が自身の考えを深めつつ，積極的に授業に参加できるようになっている。 |
| 2. 構成・分量 | ■カリキュラムと分量・本課数は10課であり，年間指導時数から見て余裕をもって指導できるよう配慮されている。・各課の教材は1授業時間での履修を想定したパート分けがなされている。■題材内容・題材は，異文化，環境問題，社会活動，科学，歴史，物語など，今の高校生に考えてほしいテーマが広く取り上げられている。・題材の内容は，学習者一般の生活環境に合うよう，親しみやすく，かつ時代の要請にこたえ，言語や文化に対する関心を高め，多面的・多角的な考察ができるものとされている。・題材の形式は，説明文，解説文，ネット記事，会話，物語形式などが採用されている。・明るいユーモアを含む教材を加えて，学習を楽しいものにさせ，英語への関心を高めるようにされている。■言語材料の扱い・言語材料は，広くアメリカで用いられる表現，語法，綴りを中心とし，その使用に当たっては，指導要領に基づき，基本的な文構造・文法事項が用いられている。・特に前半の課においては，中学校における基礎的な文法事項が意識して扱われている。■言語活動・英語を通してのコミュニケーション能力を養成するために，随所にリスニングやスピーキングの機会が設けられている。・身に付けた英語を実践に移すことを視野に，聞く・読む・話す［やりとり］・話す［発表］・書く の5つの領域の言語活動を有機的に関連づけて指導する場が設けられている。 |
| 3. 表記・表現，及び指導上の工夫や配慮 | ・判型はB5 判で紙面をゆったりととり，本文内容に関連した写真・イラストが適切に配置されており，視覚的に学習を助ける配慮がされている。・巻を通じて，英語でコミュニケーションをとる際に役立つよう，生徒にわかりやすい平易な英語が使われている。・新出語は脚注でなく傍注に示してあるため，本文を追う目の動きに沿って確認することができるようになっている。 ・生徒の理解を助けるため，脚注にイディオム・固有名詞とその日本語訳，簡単な説明が記されている。・各課に４技能５領域の活動の目標がそれぞれの活動を示すアイコンとともに明記されており，一目で活動内容がわかりよう工夫されている。・アクティビティを補助するプリントや，授業を活性化させるワークシートやパワーポイント等を収録したデータが用意されており，付属教材が充実している。 |
| 4. 印刷・造本上の配慮 | ・読みやすく親しみやすい書体，鮮明な写真・イラストを用い，レイアウトも工夫されている。・環境の保護や資源の節約のため，再生紙と印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用している。・ページの開きがよく，使いやすい製本方式を採用している。 |
| 5. 総合所見 | ・学習のポイントをおさえた単元構成の工夫，高校生に身近で興味深い題材，指導時間数を考慮した分量など，使いやすく，標準的な生徒の英語力を着実に向上させるバランスのよい教科書である。・英語学習の特質をふまえ，聞くこと，読むこと，話すこと［やり取り・発表］，書くことの５領域別に設定する目標の実現に向けた指導ができる教科書である。・身につけた知識・技能を活用して言語表現力を育成する工夫が随所に施され，主体的・対話的で深い学びができる教科書である。上記の観点より，科目『英語コミュニケーションⅠ』に適した教科書である。 |